



る会議のあり方から脱却し、住民参加・住民主導としての真の形が醸成されています。

知多市の放課後児童クラブは公設民営1、民設民営5の6ヶ所設置され、子供たちの保護者である父母が経営責任者であるとともに、父母と指導者が考え話し合って子供た

ちの健全な生活と、父母が安心して働ける環境づくりを行っています。

子供たちの父母から放課後児童クラブを設置し自分たちでやってみたいとの申し出に對して、施設の賃借料5万円と人件費・教材費等を市から補助して運営している状況です。また、クラブの利用料は、7,500円から15,000円

円で、ほかに傷害保険料・おやつ代・教材費・父母会費・入所金などを負担しています。

運営上、利用料で賄えない場合は、自分たちが経営者であることの自覚を持ち、自主的かつ積極的な経営努力をしているそうです。

これらの研修の成果を、今後の福祉計画作成に活かしていきたいと思っています。

産業建設常任委員会

● 研修目的

△水と共生する町づくり（親水公園等）について

△駅周辺再開発事業について

● 研修地

△愛知県佐屋町

△愛知県東浦町

● 研修結果

佐屋町の基本目標の中の一つとして「自然と共生し、美しい田園景観」のまちづくりを掲げ、町民総参加のもと身近な河川を浄化しつつ遊歩道や休憩施設などを整備して、快適で潤いのある環境作りを目指しております。

現在整備中の親水公園は、

● 水や緑など自然と親しむ空間として、郷土の森・親水広場・修景池の整備。

● スポーツ活動の拠点となる総合体育館・多目的グラウンドの整備。

● スポーツ・レクリエーション交流の場となる施設の整備。

● 家族などのふれあいの場の整備。

● 防災避難地としての施

設・公園案内およびメイン広場の整備。

などを計画しております。

現在建設中の体育館は、延床面積6,710㎡と規模も大きく、設備も充実したものでした。

東浦町で進めております、緒川駅周辺再開発事業は、商業の活性化を図る目的で「まちのにぎわいと核づくり」としての拠点地区整備・市街地整備を取り上げ、平成元年に駅の東地区約25・8haの土地区画整理事業を計画、推進委員会、地権者へのアンケート調査、説明会等を実施した後、町都市計画審議会の審議を経て、平成9年に都市計画決定を行いました。

事業の主な内容は、施行期間を平成10年～平成22年とし、全体の土地利用計画は、住居20・9%、商業43・4%、工業2・7%、公共地33・0%となっており、事業の中心となる大型商業施設は約9haの用地を「イオン」に提供し、平成13年に完成し大変賑わっております。

